

中国・廈門拠点で太陽光発電設備を稼働

CO₂排出量を年間約 2,350 トン削減

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市、社長：岸本暁、以下 NEG）は、子会社である電気硝子（廈門）有限公司（所在地：中国 福建省廈門市、総経理：藤居孝英、以下 EGX）の建屋屋上に太陽光発電設備を設置し、2026年4月より稼働を開始しました。

本設備の最大出力は約 5.8MWp[※]で、年間発電量は EGX の使用電力量の数%に相当します。また、CO₂排出量は年間約 2,350 トン削減できる見込みです。

※ MWp（メガワットピーク）：ワットピークは、出力が変動する発電方法における定格出力の指標です。一定の標準条件下において、その設備が理論上発揮できる最大出力を示します。



■導入の背景と今後の取り組み

NEG グループは、2050 年までのカーボンニュートラル達成に向け、国内外の拠点で CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

太陽光発電設備についても国内外の拠点で計画的に進めており、EGX での設備導入もその取り組みの一環です。発電した電力を自家消費することで、省エネルギーの推進と CO₂削減につながります。

NEG グループは今後も、再生可能エネルギーの活用を推進してまいります。

【関連プレスリリース】

- ・ [滋賀高月事業場で自己託送制度を活用した太陽光発電を開始](#) （2026年2月17日）
- ・ [マレーシア拠点で大規模太陽光発電設備を稼働](#) （2026年4月27日）

■太陽光発電設備の概要

- ・ 設置場所：電気硝子（廈門）有限公司
- ・ 設置場所詳細：建屋屋上
- ・ 最大出力：約 5.8MWp
- ・ 年間 CO₂排出削減量予測：約 2,350t-CO₂
- ・ 発電開始：2026年4月

【会社概要】

日本電気硝子株式会社は、滋賀県大津市に本社を置く、世界トップクラスの特種ガラスメーカーです。新たな機能を生み出す特殊ガラスは、板や管、糸、粉末などさまざまな製品に姿を変え、半導体やディスプレイ、自動車、電子機器、医療、エネルギーなど多岐にわたる分野で活躍しています。当社が70年以上の歴史の中で磨き上げてきた技術と実績により開発された特殊ガラスは、暮らしのあたりまえから産業の最先端まで、幅広い分野で高い評価を受けています。

会社名 : 日本電気硝子株式会社
代表者 : 社長 岸本 暁
本社所在地 : 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号
創立 : 1949年12月1日
事業内容 : 特殊ガラス製品の製造・販売およびガラス製造機械の製作・販売
URL : <https://www.neg.co.jp/>

電気硝子（廈門）有限公司は、2014年に設立された日本電気硝子株式会社の100%出資によるグループ会社です。中国・福建省廈門市に拠点を構えています。ディスプレイ用ガラスの成形・加工一貫生産体制を構築し、グループの主要な生産拠点としての役割を担っています。

以 上

日本電気硝子株式会社 〒520-8639 滋賀県大津市晴嵐二丁目7番1号

《リリース内容に関するお問い合わせ》

コーポレートコミュニケーション部 広報担当 電話：077-537-1702（ダイヤルイン）